

アンデルセン童話の絵本展

絵本展

世界で読み継がれる創作メルヘン

2008年
夏の企画展
6/20金
10/6月



ささめやゆき画
「すずのへいたいさん」
©2004 Yuki Sasameya

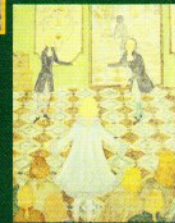


牧野鈴子画「おやゆびひめ」
©1994 Suzuko Makino

イブ・スバング・オルセン画「小さいイーダの花」©1992 Ib Spang Olsen



太田大八画
「ナイチンゲール」
©2004 Daihachi Ohta



こみねゆら画
「はだかの王さま」
©2004 Yura Komine

童話の王様 アンデルセン 夢と旅に彩られた人生をたどって

「童話の王様」ハンス・クリスチャン・アンデルセンはデンマークに生まれ、生涯で156編もの童話を世に送り出しました。グリム童話が民話を基にした物語であるのに対し、彼の童話はほとんどが創作によります。その題材は人々、自然、動植物など多岐にわたり、作品にはアンデルセンの体験や性格が多く織り込まれ、彼自身の生い立ちが反映されているのも特徴です。

本展では、世界中で読み継がれているアンデルセン童話の魅力や、国内外の絵本作家たちの描いた原画と絵本を通して紹介します。アンデルセンの生涯に思いをさせ、創作メルヘンの世界をお楽しみいただけましたら幸いです。

<主な展示原画>

ヘレン・ストラットン画「野の白鳥」 スペン・オットー画「もみの木」「マッチ売りの女の子」
チャールズ・ロビンソン画「赤いくつ」 太田大八画「ナイチンゲール」 こみねゆら画「はだかの王さま」 ささめやゆき画「すずのへいたいさん」 牧野鈴子画「おやゆびひめ」 ほか

<第一展示館にて>

- ◆企画展特集 イブ・スバング・オルセンの描くアンデルセン
- ◆併設展 国際アンデルセン賞受賞画家の絵本展
- ◆木葉井悦子の 前期：『アパディのパン』（1990年刊）
アトリエ 後期：『やまのかぜ』（1993年刊）※会期中入替あり



軽井沢
八月祭

◆軽井沢八月祭参加特別企画展 [絵本図書館にて]
「ニッサン童話と絵本のグランプリ」作品展
会期：8月1日(金)～24日(日)

軽井沢 絵本の森美術館

KARIZAWA MUSEUM OF PICTURE BOOKS

後援：デンマーク大使館、日本アンデルセン協会、アンデルセン生誕200年アジア事務局、(社)日本国際児童図書評議会、絵本学会、長野県教育委員会、軽井沢町教育委員会、信濃毎日新聞社、SBC 信越放送、NBS 長野放送、TSB テレビ信州、abn 長野朝日放送、FM 軽井沢



■開館時間

9:30～17:30
※6・10月は17:00まで
(最終入館は閉館時間の30分前)

■休館日

6月24日(火)、10月7日(火)

総合インフォメーション

(軽井沢絵本の森美術館内)

〒389-0111

長野県北佐久郡軽井沢町風越公園

TEL.0267-48-3340

URL <http://www.museen.org>

E-mail info@museen.org

FAX.0267-48-2006

■入館料

軽井沢絵本の森美術館	大人 800円	中高生 500円	小学生 400円
エルツおもちゃ博物館	大人 600円	中高生 400円	小学生 300円
2館共通セット券	大人 1000円	中高生 700円	小学生 500円

●町内循環バス「風越公園」バス停より徒歩5分

●軽井沢駅北口より直通シャトルバス 7月19日(土)～9月28日(日)の毎日運行
※詳細はホームページをご覧ください

